

■平成28年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	H28.9.13	市政懇談会 (H28)	太田	農林部	農政課 農村林務課	農地中間管理機構制度の課題について①	農地中間管理機構について2点伺いたい。 ①地域集積協力の充実のため今後とも支援をお願いしたい。 ②田んぼを拡大する基盤整備の採択条件が中間管理機構との契約が80%を越えなければならない。この契約がなかなか進まないため、基盤整備も進まない。採択の条件緩和等ほかに方法はないか。	農地中間管理機構制度は平成26年から始まった。市全体では平場の集積は進んでいるが中山間地域の集積はまだ進んでいない状況。地域集積協力は平成27年度7900万円不足が出たが、その後7000万円はなんとか追加でもらえた状況。平成28年度以降も国、県へ予算確保の要請を行っていく。 基盤整備においては中間管理機構を利用し農地集積をすると採択順位が上がる。また中間管理機構を使うことで農家負担を減らすこともできる。集落の担い手と協力をして基盤整備を進めてほしい。中間管理機構の説明も都度行っていく。中間管理機構を使わずに基盤整備を進めることは現在の制度では難しいことから、地域の営農に関するビジョンを地域住民と考えながら進めていきたい。
2	H28.9.13	市政懇談会 (H28)	太田	農林部	農政課	農地中間管理機構制度の課題について②	平成28年以降交付金交付の条件が法人でなくとも生産組合に関連している個人の分も集積率のカウントに入れるという解釈となり、これまでと条件が変わった。このため、生産組合が法人になっても経営転換協力金、地域集積協力の対象となくなってしまう。予算が無いという話も聞くが、花巻の枠がないのか、国の枠がないのか。生産組合の構成員が法人化したとき、彼らの経営転換協力金の対象にならないのはなぜか。方向転換した理由は。	予算については国で予算をとり各都道府県に配分される。岩手県に配分された予算が不足している現状。岩手県に配分された予算を花巻市に交付してもらっているが枠があるわけではない。花巻市の取り組みは全国で見ても西日本の県並の規模となっている。 平成28年以降予算の少ないところに協力が交付されることになった。国全体で中間管理機構の交付金予算が不足している。 制度の改正については、農地集積が進み、予算が少なくなった今、新規に集積している人に交付する制度に変更となった。集落営農組織は地域の担い手とみならず、法人になっても担い手から担い手の集積という解釈となるため生産組織が法人化しても対象にならないという説明を県から受けている。財務省での取決めとのこと。市としては今後も県に予算確保の要望をしている。 国の予算が限定されている。生産組合については私たちにとっては突然変わったという解釈だが、農林水産省では生産組合については、突然の変更ではなく初めからそう説明していたという解釈。後付けの解釈ではと反論をしたが財務省との関係もあり、もとに戻すのは難しい。
3	H28.9.13	市政懇談会 (H28)	太田	建設部	都市政策課	特定空き家の判断について	特定空き家の判断は現在どの程度進んでいるか。太田地区でも空き家数件あり、周辺農地の環境が悪化し迷惑がかかっている。早急に判断してほしい。また特定空き家と判断された場合、市の対応は。	特定空家等の認定には条件がある。市では、現在データベースを作成するため、空き家の実態調査をし特定空家等の判定基準に基づき判定を行っている。特定空家等に該当すると助言・指導・勧告、行政代執行まで見据えている。使用者自らの責任において改善解決を図ることが大原則である。
4	H28.9.13	市政懇談会 (H28)	太田	建設部	都市政策課	特定空き家にかかる行政代執行について	認定時期はいつか。行政代執行までの覚悟はあるのか。	データベース作成のための委託期間が平成29年2月末までとなり、特定空家等の判断も併せて行う。特定空家等の具体例としては、隣家に影響を及ぼす、一般の通行に支障きたすなどの切迫性があるか、また住宅密集地等地域性も関わってくる。 行政代執行すると費用の徴収があるが、他県の事例(大仙市)を調べても費用の徴収は難しいようである。 特定空家等は、隣家に迷惑、通行者への迷惑となれば指定されるが、太田地区のような隣家と離れた家が朽ち果てても指定できない。指定された場合は助言・指導・勧告の順でやっていく。勧告が出されると固定資産税の軽減措置がなくなるが、これもあまり効果的とは言えない。勧告をしてもだめなら市が壊すことになる。解体費用は所有者に請求するが、払えない人もいる。近隣に迷惑がかかるような安全性に問題がある場合には、市が壊す場合もあるが、太田地区では難しい。 また現在空き家バンクに登録いただき売買又は賃貸契約が成立した場合には市から報奨金を出すなど空き家を出さない努力をしている。できるだけ登録してほしい。 さらに新規就農者の支援を行うなど花巻に人を呼びこむために、様々な施策を組み合わせることで空き家を減らしていきたい。

■平成28年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
5	H28.9.13	市政懇談会 (H28)	太田	建設部	都市政策課	公共交通について	交通弱者対策として、国土交通省の補助金を利用しデマンドタクシーを実験的に運行しており、今後本格的実施をしたいが市の考えは。また、予約応答型相乗交通が市全域に拡大される時期はいつ頃を予定しているのか伺いたい。	岩手県交通の路線がある地区について市が実施する予約応答型乗合交通に切り替えるには岩手県交通との協議が必要で時間がかかる。予約応答型乗合交通については当日予約可能となり、石鳥谷地域は、今年度から試行する。東和地域は来年度以降の予定としている。運行業者と協議し、その運用状況を見極めて地域の拡大を図っていききたい。現状では太田での実験終了後すぐに公共交通の施策として予約応答型乗合交通へ切り替えることは難しいが、早期に導入時期を伝えたい。
6	H28.9.13	市政懇談会 (H28)	太田	建設部	都市政策課	太田のバス路線について	太田のバス路線はスクールバスの利用ではないか。真に住民の足になっているか。	県交通に聞くと1便5人前後で主に支援学校の生徒とのこと。黒字路線ということもあり沿線に予約応答型乗合交通を入れるのは難しい。本格運行に移るには県交通との協議が必要になる。
7	H28.9.13	市政懇談会 (H28)	太田	総合政策部	地域づくり課	婚活対策について	全国的な傾向でもあるが、結婚をしない男女が増えてきていると感じている。このまま結婚しない人が増えていくと子供も生まれないため、人口減少がますます進んでしまう。花巻市でも婚活担当職員が1名いるようだが、他の仕事と兼務しているためなかなか成果がでないのではないかと危惧する。花巻市でも先進地の事例も参考に取り入れるなどして積極的に婚活対策に取り組んでいただきたい。	市では、今年度より結婚を望む人を出会いから結婚までスムーズに進めるようお世話をする方を人材育成するため、はなまき婚シェルジュ育成研修を実施しており、現在3組の夫婦が参加している。また、岩手県では、今年度から「いきいき岩手結婚サポートセンター、通称「サポ」を立ち上げ結婚を希望している方が会員登録したうえで、自分のプロフィールを登録し条件がマッチングした方と1対1でお見合いをセッティングさせる事業を始め成果が出てきているところ。県が運営することにより、結婚希望者を広域的にカバーし婚活支援に対応できるとしている。市でも負担金を拠出しており、もっと周知を図っていききたいと考えている。 現在、国体対応のため市職員が23名専任として配置されているが国体が終わり一定の目途がついたら、婚活担当職員も含めて適正な人員配置を考えていく必要があると思っている。
8	H28.9.13	市政懇談会 (H28)	太田	健康福祉部	長寿福祉課	介護予防・日常生活支援総合事業について①	来年4月から介護予防・日常生活支援総合事業が始まることとなり、市内4地区(宮野目、笹間、八日市、八幡)をモデル地区に指定したと伺っている。市では、今後、モデル地区以外の地域にも広げていきたいと考えていると思うが、現在の取り組み状況をお聞きたい。	現在、モデル地区となっている4地域の他に、大迫及び東和でも1地域ずつモデル地区にお願いすることで準備を進めている。今後は、他の地域にもなるべく早く広げていきたいと考えているが、本事業に対して消極的な地域が多く説明会を開いてもよく分からないとの声もある等なかなか理解が進んでいない。まずは、モデル地区で取り組んでいただき成果を出すことで他の地域にも波及していくことを期待している。
9	H28.9.13	市政懇談会 (H28)	太田	健康福祉部	長寿福祉課	介護予防・日常生活支援総合事業について②	地元の区長と相談しているが、近々太田地区の各団体と西包括支援センター及び市の担当者に来ていただき、この事業について理解してもらい、今後どのように組織化して進めていけばよいか話し合う場を設けることを検討している。	ぜひ、よろしく願いたい。
10	H28.9.13	市政懇談会 (H28)	太田	総合政策部	防災危機管理課	貯水池の対応について	当集落にある、瀬の沢川の上流に、地元で管理している貯水池がある。ずいぶん前につくられたため、今の若い世代は知らない人も多いと思う。大雨の際には決壊する可能性もあることから、市で周知を図っていただけないものか。	地元で管理している貯水池については、市では対応は難しい。あくまでも地元で災害時に備えて管理体制を構築していただくようお願いしたい。 →農村林務課より対応マニュアルなどを太田地区振興会及び行政区長に提供済。
11	H28.9.13	市政懇談会 (H28)	太田	建設部	道路課	主要地方道花巻大曲線の道路整備について	志戸平付近手前のカーブにがけ崩れの防止柵が設置されているが、この付近は活断層があるとも聞いており、大地震により岩石が崩れ発生して通行ができなくなるのではないかと危惧している。迂回路が必要ではないか。	迂回路については、以前に県と打合せした際に確認したが無理との回答であった。まずは、沢内に向かう主要地方道花巻大曲線の橋梁整備を5ヶ年かけて行った後、20億円かけてトンネルの整備計画があり、西和賀町と一緒に国県に対して強く要望しているところである。

■平成28年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
12	H28.9.13	市政懇談会 (H28)	太田	生涯学習部	生涯学習課 宮沢賢治記念館	高村光太郎記念館の宣伝について	宮沢賢治記念館には多くの観光客が訪れていると思うので、ぜひ高村光太郎記念館にも誘導していただくように対策を講じていただきたい。また、宮沢賢治記念館では、様々なパンフレットを発行しているようだが、その中に高村光太郎記念館の記載がない。担当部署は違うと思うが、連携して宣伝いただきたい。	高村光太郎記念館の宣伝は必要だが、宮沢賢治記念館に比べると規模が小さいので、同じようにはなかなかいかないと思う。しかしながら高村光太郎記念館は小規模ではあるが、光太郎と千恵子の夫婦愛を示す展示があるなど素晴らしい記念館であり、その宣伝については検討したい。
13	H28.9.13	市政懇談会 (H28)	太田	商工観光部	観光課	花巻まつりについて	花巻まつりの関係者に話を伺うと資金面で苦慮しているようである。企業からは協賛金をいただいているようだが、個人からも協賛金をいただくようにしてはどうか。また、少子化で山車の稚児に参加する児童も少なくなっているようなので、例えば鍛冶町と太田と提携を結び太田地区の児童も参加できるようにする等検討いただけないものか。	花巻まつりに関することは、市ではなく花巻まつり実行委員会で決めているものである。また、稚児の募集についても各組に任せており、市が仲介するべきではないと思う。
1	H28.9.26	市政懇談会 (H28)	花南	教育部	こども課	保育園民営化の保護者からの意見について	保育園を民営化するにあたり、保護者への説明時の反応はどのようであったか。	対象園を選定した直後の本年4月に各園ごとに保護者説明会を行ったが、移管後の運営に関する質問が総じて多かった。例えば、「職員の内れ替えについて」「保育料について」等であるが、職員については現在の正職員の異動はあるが、非常勤職員については希望があれば移管先法人での採用による継続も見込めると考える。そのための移管先法人と非常勤職員の面談等を現在、実施しており、保護者からは概ね納得いただいた。
2	H28.9.26	市政懇談会 (H28)	花南	教育部	こども課	移管先法人の正職員率について	公立の正職員率の状況は分かったが、法人の正職員率の状況はどうか。	法人の正職員率について把握しているデータはないが、公立園の非常勤職員の受け入れについては、移管先法人からは希望者はできるだけ正規採用したいとの意向があることから、正職員率の向上は期待できると考えている。
3	H28.9.26	市政懇談会 (H28)	花南	教育部	こども課	市立保育園民営化の選定理由について	民営化の対象とした理由について、入園率の高い園を選定したとの説明であったが、今回対象とならない園でも入園率の高い園がある。その違いは何か。	今回の民営化について、市内の法人に移管の意向を確認した経緯があり、その中で具体的に話のあった園について、今回の再編第1期実施計画の民営化実施園として選定したものである。
4	H28.9.26	市政懇談会 (H28)	花南	教育部	こども課	保育園、幼稚園の一元化について	子どもを見る環境として、保育園と幼稚園とをわけず、一つの組織がよいように思う。将来的、そのような方向性は国から示されているというようことはあるのか。	保育園は厚生労働省、幼稚園は文部科学省、認定こども園は内閣府というように、国では制度が個別になっており、統一までには時間がかかると思われる。約10年前から花巻市では、保育園、幼稚園、小学校、全部一体となって一緒に研修している。小学校に入るまでの力のつけ方、子どもたちの遊びに関してもっと魅力的なカリキュラムをつくらうという内容で、現在進めているところとしている。
5	H28.9.26	市政懇談会 (H28)	花南	建設部	道路課	豊沢橋の架け替え工事について	豊沢橋の架け替え工事の完了予定はいつ頃か。	この工事は、国からの交付金を活用し整備を行っており、平成27年3月に国からの追加交付があったため、現在工場において橋げたを製作中である。今後も国からの交付金が必要であるため、国に対して強く要望活動を行っている。平成30年の秋頃までには完成したいと思っており、ご迷惑をおかけしているがもう少しお待ちいただきたい。
6	H28.9.26	市政懇談会 (H28)	花南	建設部	道路課	国道4号線桜橋から国道283号線銀河モール入口付近の草刈りについて	国道4号線から朝日大橋に曲がる東町の十字路の縁石付近の草が伸びており景観上よくないと思う。国体も開催されるので整備をお願いしたい。	管理は国か県だと思うが、建設部で現場を確認したうえで、管理者に対処いただくよう伝えることとした。 →道路課で9/28に現地確認したところ歩道部と路肩部に草があったため道路管理者である岩手県花巻土木センターに除草の要望を行い、道路管理者からは対処するとの回答があった。
7	H28.9.26	市政懇談会 (H28)	花南	総合政策部	防災危機管理課	土砂災害の危険箇所の調査について	市では土砂崩壊の可能性のある危険な箇所について調査しているのか。	土砂災害の危険箇所は市内に591ヶ所ある。市では昨年度ハザードマップを作り直しをして全世帯に配布したり、市HPにも掲載して周知を図っている。このほかにも地域で危険と思われる箇所があった場合には、防災危機管理課まで連絡いただきたい。

■平成28年度市政懇談会記録

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
8	H28.9.26	市政懇談会 (H28)	花南	建設部	都市政策課	空き家対策について	桜町一丁目では、空き家が27戸あるが、その内3戸は倒壊の危険性がある。通学路に面している建物もあるので心配の声も聞かれるが、このような空き家を市としてどのような対策を考えているのか伺いたい。	国で昨年に空き家対策法が施行されたことにより、市でも今年7月に空家等対策計画を策定したところである。現在、市では以前に行政区長から情報提供いただいていたが、再度担当課で調査を実施している。危険な空き家があった場合には、都市政策課まで情報提供いただくようお願いしたい。
9	H28.9.26	市政懇談会 (H28)	花南	建設部	道路課	国道4号線花巻東バイパスの草刈りについて	スクールガートを務めていることもあって感じるが、花巻東バイパスのローソン交差点付近の南側の土手の草が伸びているため道路が隠れてしまい見通しが悪く危険だと思う。通学路でもあるので、対処願いたい。	国が管理していると思うので、建設部で現地を確認の上、管理者に連絡することとしたい。 →道路課で9/28に現地確認し道路管理者である国土交通省岩手河川国道事務所に対して除草の要望を行い、道路管理者からは現地を確認し必要に応じて対応するとの回答あり。 →10/31に国土交通省岩手河川国道事務所水沢国道維持出張所から花巻東バイパスのローソン交差点付近の南側の状況を確認した結果、国道4号線の路肩は見通しが確保されており、現時点では除草の必要性はないと思われるが、今後も状況を確認し除草が必要な場合は対処するとの回答があった。
10	H28.9.26	市政懇談会 (H28)	花南	総合政策部	防災危機管理課	災害情報の取扱いについて	先日の台風の際に、避難準備情報が夕方の5時半ごろに出たため、市からその旨連絡をいただいた。桜町二目は土砂災害危険区域にもなっている箇所もあるため、民生委員と手分けして各戸回って注意喚起を実施した。だが、このようなことは、花巻市民全体が関わることであり、今後はもっと市民に対して防災意識を高めるための啓発が必要だと思うが市の考えを伺いたい。	全国各地で土砂災害や河川の氾濫などで災害が発生しており、先日の台風10号の際には県内でも久慈市や岩泉町では、特に多大な被害を受けたところである。まず市の取り組みとして必要なことは、市民には、防災上の対応を理解いただいた上で、確実に身の安全を確保していただくために避難誘導することである。そのため市では、昨年度に避難基準の見直しを専門家の意見等も参考にして行ったところである。また、避難の情報については振興センター単位よりも細分化してエリアを限定してだせるように検討している。
11	H28.9.26	市政懇談会 (H28)	花南	建設部	道路課	市道上町成田線の電柱移設について	桜町二丁目の市道が幅幅が難しいために、代わりに電柱移設を実施するという話があり、電話線は移設しようだが、電柱がそのままになっているが、どうなっているのか。	担当課に確認の上連絡する。 →道路課確認。市道上町成田線の電柱移設については、隣接の地権者から移設の同意をいただき東北電力に移設申請を行っている。(5本中3本) ただし、一部の地権者から同意が得られない状況(5本中2本) このことは、コミュニティ会議を通じて発言者に連絡済。